

患者さまへのお知らせ・お願い

□入院セットのご案内

9月1日より、入院セットがご利用できるようになりました。
入院セットとは、入院時に必要な寝巻きやタオルなどを患者様のニーズに合わせて、一日単位でレンタルするシステムです。入退院される際のご準備や毎日のお洗濯、荷物を持つての往復などレンタルセットをご利用いただくことでご家族の負担を軽減でき、常に高温洗浄処理された清潔で安全な物を利用することができます。また、セット内容は患者様のニーズに合わせた種類をご用意しております。身の回り品を心配することなく治療やリハビリに専念できる、便利で安心なレンタルセットを是非ご利用ください。

<セット内容>

寝 巻 : パジャマ、甚平、ガウンタイプ・介護寝巻
タオル類 : おしぼりタオル、バスタオル、フェイスタオル

<金額>

¥380(税込)×入院日数

□ロビーコンサートのお知らせ

- ◆11月10日(水) さかもと未明さん(ジャズシンガー)
- ◆11月30日(火) 横手 梓さん(ピアノ)
- ◆1月28日(金) 池内 光子さん(アコーディオン)

中央棟1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。
是非、お越しください。

曲目につきましては、コンサート当日、

会計前ロビーにて掲示いたしますのでご確認ください。

TOPICS

□日米親善トライアスロン大会で

耳鼻科チーム4位入賞！

平成22年8月8日(日)第24回日米親善トライアスロン大会が厚木米軍基地内で開催されました。今回我々は昭和大学耳鼻咽喉科としてリレー方式のレースに参加し総合4位(36チーム中)と好成績を収めることができました。
個々の成績は以下の通り、
スイム500m 兼井彩子 11分34秒(14位)、
バイク10km 門倉義幸 35分26秒(5位)、
ラン5km 滝口修平 20分46秒(6位)。
みなさんもトライアスロン始めてみませんか？



患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しましては、関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど、出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で、早急に対応が必要なもの、多くの方が希望していることを優先して対応させて頂きたいと考えており、その他のご意見についても順次対応させて頂きます。

前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近多くいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させて頂きました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	改善等
トイレに便座クリーナーを設置してほしい。	1・2階の全トイレに便座クリーナーを設置いたしました。是非ご利用ください。
西棟の車椅子のタイヤの空気が抜けていた。	ご迷惑をおかけ致しまして大変申し訳ございませんでした。これまでも巡回の際、車椅子のタイヤの確認は随時行っておりましたが、今後は確認漏れの無いよう、徹底致します。また、もし空気が抜けていることがありましたら、すぐに対応いたしますので、お近くのスタッフまでお声かけください。

編集後記

10月もなかばが過ぎ、例年ですと半袖と長袖の衣類の位置が完全に入れ替わっている頃なのですが、今年は猛暑の影響が今月になっても秋とは思えぬ陽気の日もあり、まだ半袖がしまいきれません。北部病院の隣の中央公園は春には桜が咲き誇りますが、秋はコナラなどの広葉樹やもみじが色づき、春とは異なる美しさを見せてくれます。しかし今年は木々も人と同様に戸惑っているようで、少々遅れているようです。
北部病院も来年の春で開院から丸10年になります。医療スタッフにも多くの新しい力が加わり、診断医療機器も入れ替わりが始まっています。北部病院だよりはこれから「病院の今」をお伝えできるように、担当一同頑張っていきたいと思います。

医療情報部 小塚 和人

北部病院だより 第62号

平成22年10月31日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 衣笠 えり子(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

北部病院だより

第62号

第62号【2010/10/31 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

●巻頭言

『チームスポーツとチーム医療 チームディフェンスと医療安全』

心臓血管カテーテル室 講師 芦田和博

●イベント情報

災害訓練～EMRトレーニングシステム～

公開講座～暮らしと健康～

●医師の配属・異動・退職

●診療統計

●外来担当表

●患者さまへのお知らせ・お願い

入院セットのご案内

ロビーコンサートのお知らせ

★TOPICS 日米親善トライアスロン大会で
耳鼻科チーム4位入賞！

●患者様からのご意見・ご要望

巻頭言

『チームスポーツとチーム医療。チームディフェンスと医療安全』

猛暑であった夏もようやく過ぎ去り、秋も深まってきました。秋にはさまざまなフレーズがきます。皆様にとっての秋とは何でしょうか？

食欲の秋、読書の秋…。私にとってはスポーツの秋であります。ウィンタースポーツは秋の深まりとともに白熱した試合が多く見られるようになってきていますが、ラグビーもウィンタースポーツのひとつです。

私ども昭和大学横浜市北部病院でも、アンチエイジング？を合言葉に3年前にラグビーチームを結成しました。世良田副院長(麻酔科教授)を筆頭にさまざまな診療科の医師、コメディカル、管理課職員、さらには北部病院を担当されている製薬メーカーさんや医療備品メーカーさんにも参加していただき、各種大会での勝利を目指して毎週練習に汗を流しています。

本日は、ラグビーというスポーツの持つ性格も考慮してのチームスポーツとチーム医療、そしてチームディフェンスと医療安全について、対比させながら論じてみたいと思います。

ラグビーは1チーム15名という、グランドスポーツでは最大人数で行われるスポーツです。

人数が多いということは、さまざまな体型や運動特性を持った多種多様な選手がいることになりますし、体型以上に性格もさまざまです。相手も同じ人数いるわけですが、攻撃時にいかに相手からマークされないフリーとなる選手を生み出すかがポイントとなります。そのため、一見無造作・無秩序にアタックしているように見える場面も、実は緻密に作戦を練って、攻撃することによって敵より多くの人数が一時的にできる(フリーになる)ような状況を生み出すようにします。このとき、一人一人が秩序と規律に則って、各人の役割を遂行するわけで、大きな相手に体をぶつけるだけで一回もボールに触る役割のない選手もいます。最終的に仲間が託したボールを最後に受け取った選手がボールをタッチダウン；トライが生まれるわけですが、15人全員の協力と自分の役割を忠実に遂行する責任感がなければ達成できません。

チーム医療も同じだと思います。私は主に心臓血管カテーテル室にて勤務する時間が長くなりますが、カテーテル治療は一人の医師だけではできません。落合教授をはじめとした様々な医師の協力・指導はもとより、看護師、MR、放射線技師といったコメディカルの方々の協力を得て初めて高度な治療ができる先進的な医療であります。当院に見学などで来られる様々な医療スタッフからはコメディカルの方々のプロ意識の高さ、医療チームとしての規律保持度の高さにお褒めの言葉をいただくことが多々ありますが、そのようなチームをもってして皆様に少しでも高度な医療を提供できるよう日々精進しています。また、実はチームとはカテ室内だけではございません。カテ室がいつも変わらず最高な環境となるよう、清潔・整理整頓に努めていただける看護助手さん、さらには病院全体をいつも変わらず最高な環境に整えていただける、防災センターや中央監視室(何でも迅速に修理していただけます)、清掃の方(院内にはいつもごみひとつ落ちていないです)があつての毎日の診療なわけです。強いチームには必ず規律と、グランドキーパーのような役割をする優れたサポートがあります。当院も彼らのおかげで高度な医療が提供できるのだと思います。

また、ラグビーでは攻撃以上に守備のときに多くの走力を求められます。防御網を破られないようする(一次防御)ことはもちろんですが、一次防御を突破されてもトライは防げるように各人がカバーに走っての二次防御、三次防御を前もって行います。このカバーディフェンスこそが、グランドを端から端へと走らされることになるわけで、大変体力的にきついことになります。一次防御で破られなければ不要なわけですから(いわば保険的な動きです。無駄走りになるようにも一見思えてしまいます)、チームメイトが相手の攻撃を止めてれば走らなくてもいいだろうとか、誰かが止めてくれるとか、ついついきついことから逃れようとして手を抜きがちな場面もあります。しかし、高校生・大学生・社会人ともに、二次防御に走らないチームにいいチームはありません。チームディフェンスにこそチームの力が現れるとも言えます。

医療も同じです。医療はスポーツと違って、当然負けられない試合が昼夜を問わず毎日続くわけですから、医療安全は必須事項となります。様々な医師の目、コメディカルの目や発言による相互確認が医療事故を防ぐディフェンスとなりますし、医療安全管理室、地域医療連携室、そして管理課などが率先して二次防御網をあらかじめ引いて医療を守っています。高度な先進的医療と医療安全はともすれば相反する状況になる恐れがありますが、上記の医療者個人個人、そして様々な組織や院内の委員会活動がそのバランスを保ち、安全な医療を提供できる環境を構築しているといえるかと思います。

このような素晴らしい様々なスタッフのいる病院(チーム)で、私も自分の役割を粛々とこなせるよう日々精進しようと思います。またラグビー観戦する機会がございましたら是非規律と二次防御に注目していただけますと幸いです。

One for All, All for One. ご精読ありがとうございます。



記録的な猛暑も終わり、徐々に冬が近づいてきました。

北部イベント

防災訓練～エマルゴトレーニングシステム～

8月21日（土）13時30分から、中央棟1階外来前におきまして、エマルゴトレーニングシステムによる防災訓練を実施いたしました。医師・看護師・その他コメディカル等約60名が参加し、1・2次トリアージ、緑・黄・赤・黒エリア、救急搬送、手術室等のグループに分かれ、実践的な災害医療訓練・研修となりました。



公開講座～暮らしと健康～

10月16日（土）13時30分から、西棟4階講堂におきまして、秋季公開講座＜暮らしと健康＞を開催いたしました。今回の公開講座では「認知症」、「子宮頸がんは予防できる～今できること～」の2テーマで約30名の方々にご参加いただきました。来年度の公開講座につきましては、詳細が決まり次第、院内掲示・ホームページ等でお知らせいたしますので、奮ってご参加ください。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

【附属病院より】			7～10月		
滝 元宏 （こどもセンター） 昭和大学医学部 小児科学教室より			勝呂 俊昭 （内科） 昭和大学医学部 内科学教室より		
飯田 玲 （産婦人科） 昭和大学医学部 産婦人科学教室より			川島 史善 （整形外科） 藤が丘病院 整形外科より		
			鈴木 学 （こどもセンター） 昭和大学医学部 小児科学教室より		

【出張終了】					
☐ 伊藤 寛晃（消化器センター）	☐ 山口かずえ（消化器センター）	☐ 小林 泰俊（救急センター）	☐ 石垣 智之（消化器センター）		
☐ 須藤 晃佑（消化器センター）	☐ 久行 友和（消化器センター）	☐ 鈴木 道隆（消化器センター）	☐ 児玉 健太（消化器センター）		
☐ 及川 裕将（消化器センター）	☐ 垣本 哲宏（消化器センター）	☐ 御子柴 幸（心臓血管カテーテル室）			
【配置転換】					
☐ 小林 功治（内科 ⇒ 救急センター）	☐ 宮下耕一郎（救急センター ⇒ 内科）				
☐ 小形 典之（消化器センター ⇒ 救急センター）	☐ 小鷹 紀子（消化器センター ⇒ 救急センター）				
☐ 木田 裕之（救急センター ⇒ 消化器センター）	☐ 西脇 裕高（救急センター ⇒ 消化器センター）				

異動・退職医師

【附属病院へ】			【長期学外出張】		
☐ 藤巻孝一郎（こどもセンター）⇒ 豊洲病院小児科へ	☐ 遠武 孝祐（産婦人科）	☐ 里舘 均（消化器センター）			
☐ 寺瀬 香苗（形成外科）⇒ 医学部形成外科学教室へ	☐ 細谷 寿久（消化器センター）	☐ 向井 俊平（消化器センター）			
☐ 田中 裕（こどもセンター）⇒ 医学部小児科学教室へ	☐ 和田 陽子（消化器センター）	☐ 渡邊 大輔（消化器センター）			
【退職】					
☐ 畑 英之（消化器センター）	☐ 一政 克朗（消化器センター）	☐ 前田 康晴（消化器センター）			
	☐ 五十嵐健太（消化器センター）				

診療統計

2010年7～9月統計データ（ ）内は1日平均				
診療実日数 入院・・・31日（7・8月）・30日（9月） 外来・・・26日（7・8月）・24日（9月）				
	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
7月	32,277人(1,241.4人)	17,514人(565.0人)	367件(11.8件)	600件(28.6件)
8月	31,569人(1,214.2人)	17,902人(577.5人)	356件(11.5件)	596件(27.1件)
9月	30,468人(1,269.5人)	16,424人(547.5人)	286件(9.5件)	515件(25.8件)

外来担当表

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	鹿間裕介(初)		石井／西脇(初)	井上七重(再)	神尾義人(初)	鹿間裕介(再)	笠原慶太(初)		北見／澁谷(初)		医局員(初診)
	笠原慶太(再)	笠原慶太(再)	笠原慶太(再)		鹿間裕介(再)	北見明彦(再)	鹿間裕介(再)	神尾義人(再)	井上七重(再)		
	北見明彦(再)	澁谷泰弘(再)	澁谷泰弘(再)					石井 源(再)			
									鹿間裕介(再)		
消化器センター	医局員	大塚和朗	田中淳一		和田祥城	和田祥城	里舘 均	里舘 均	大塚和朗	大塚和朗	医局員
	林 武雅(予)	井上晴洋	井上晴洋		若村邦彦	若村邦彦	医局員	医局員	春日井尚	春日井尚	
		出口義雄		小鷹紀子	医局員	遠藤俊吾	池原伸直	池原伸直	医局員		
	小形典之	小形典之	医局員		日高英二	日高英二	西脇裕高	西脇裕高	宮地英行	宮地英行	
	山村冬彦	山村冬彦	工藤進英		石田文生		大越章吾	山村冬彦	遠藤俊吾	【ｽﾄｰﾍﾞｰﾝ】	
			細谷寿久(限)	若下方影(2)			工藤進英(特診)				
心臓血管カテーテル室			落合正彦								
	磯村直栄		山本明和		小原千明		荒木 浩		芦田和博		医局員
循環器センター	星本剛一		山下賢之介		岡部俊孝		藤倉寿則		斉藤重男		
	富田 英		上村 茂	富田 英			富田 英	富田 英	上村 茂	上村 茂	医局員
	伊藤篤志(心臓血管外科)	黒子洋介(血管外科)	【手術日】	【手術日】	伊藤篤志(心臓血管外科)	伊藤篤志(心臓血管外科)	【手術日】	【手術日】	石野孝三(心臓外科)		伊藤篤志(心臓血管外科)
メンタルケア(初)	堀 宏治(精神全般認知症)	堀 宏治(精神全般認知症)	吉益晴夫	吉益晴夫 富岡 大	工藤行夫(精神全般統合失調症)	工藤行夫(精神全般統合失調症)					
メンタルケア(再)		富岡 大	笹森大貴		堀 宏治	堀 宏治	吉益晴夫	吉益晴夫	工藤行夫		山田英介
メンタルケア(再)		青木麻梨		吉澤 徹		菊地 優			伊川太郎		
内 科(23-2)		石部 穰(内科腎臓)	医局員		富岡 大		菊地 優	飛田真砂美	堀 宏治	吉益春夫	
内 科(23-2)		高橋 健(内科腎臓)									
内 科(23-2)		成島道昭(内科)	武重由衣(内科)	土屋静馬(内科)	菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)	土屋静馬(内科)	武重由衣(内科)			
内 科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)	福井俊哉(記憶認知)	加藤雅典(内科)	戸嶋洋和(内科)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)		川崎仁志(内科神経)	土曜日初診
内 科(23-5)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)	戸嶋洋和(内科)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	熊田千晶(内科)	三代川章雄(内科消化器)
内 科(25-1)	井上 孝(内科神経)	小林功治(内科)			井上 孝(内科神経)		松坂貴太郎(内科)		小林功治(内科)		荻原 徹(糖尿病,内分沁)
内 科(25-2)	和田幸寛(内科)	中原広明(内科)	山崎貴博(内科神経)	三沢志保(内科)	木村 聡(内科・感染症)	小林直人(内科)	和田幸寛(内科)		伊藤英利(内科腎臓)		中原広明(内科)
内 科(25-3)	田口 進(内科消化器)	井上 穰(内分沁・代謝)	中山文義(腎)(2・4・5)		山本真寛(内科)		田口 進(内科消化器)		山本真寛(内科)		渡邊浩之(1.3)(内科)
内 科(25-5)	荻原 徹(糖尿病,内分沁)	荻原 徹(糖尿病,内分沁)	辻 正富(糖尿病,内分沁)	辻 正富(糖尿病,内分沁)	荻原 徹(糖尿病,内分沁)	荻原 徹(糖尿病,内分沁)	勝呂俊昭(糖尿病,内分沁)	勝呂俊昭(糖尿病,内分沁)	荻原 徹(糖尿病,内分沁)	荻原 徹(糖尿病,内分沁)	辻 正富(限症)
内 科(25-6)		伊東友弘(内科腫瘍)	勝呂俊昭(内科)	大野恭史(内科)	滝西安隆(内科)		緒方浩顕(内科)	成島道昭(内科)	滝西安隆(内科)		緒方浩顕(内科腎臓)
内 科(25-7)	宮下耕一郎(内科)		嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	女性専門外来(予約のみ)	伊東友弘(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	伊東友弘(1.2.3)(内科腫瘍)		大野恭史(内科)
小 児 科	梅田 陽	神経外来	梅田 陽	乳児検診	北澤重孝	ﾌﾟﾛﾅｰ外来	梅田 陽	成育外来	北澤重孝	乳児検診	滝(偶・三輪)
小 児 科	大戸秀恭	予防接種	澤田まどか	ﾌｵﾛｰｱｯﾌﾟ外来	大戸秀恭	腎臓外来近問(2.4)/辻(1.3)	澤田まどか	心臓外来	滝 元宏	ﾌｵﾛｰｱｯﾌﾟ外来	澤田(奇)西岡(偶)
小 児 科	北澤重孝		三輪善之	血液内科(4)心理相談	富永牧子	心理相談	井上真理	口腔発達(2,4)	大戸秀恭		梅田(奇)上松(2)
小 児 外科		鈴木孝明		大橋祐介		鈴木孝明	心理相談	大橋祐介			鈴木孝明(奇)大橋祐介(偶)
皮膚科(初16-3)	杉山美紀子		宋 寅傑		上岡なぎさ		杉山美紀子		宋 寅傑		医局員
皮膚科(再16-1)	宋 寅傑										
皮膚科(再16-2①)	上岡なぎさ	外科手術	上岡なぎさ	外来手術	医局員	外科手術	医局員	外来手術	上岡なぎさ	外来手術	医局員
皮膚科(再16-2②)			杉山美紀子		奥村恵子		奥村恵子		杉山美紀子		
外 科	中村明央(第3以外)	中村明央		杉本啓一(3)	新井一成		新井一成	井関雅一(偶)岩波正英(3)	中村明央	岩波正英(第2,4)	中村明央(奇)新井一成(偶予)
外 科			福成信博		山崎智巳			兼坂 茂(予約のみ)	福成信博(1.2.3.5)	山崎智巳(偶)	
外 科	福成信博(1,2,4初)										
形成外科	大塚尚治	ﾋｰﾘﾝｸﾞ	【手術日】		国井健太		手術日		大塚尚治		大塚尚治(13)
緩和ケア(麻酔科)		岡本健一郎(事前予約制)			岡本健一郎(事前予約制)				岡本健一郎(事前予約制)		
脳神経外科(初再診)		小林信介(偶)	池田尚人(予約のみ)	【手術日】		退院後外来					医局員
脳神経外科	池田尚人	池田尚人(診断書外来)	紹介状のみ(初)	【手術日】	池田尚人	池田尚人	松本浩明	松本浩明	池田尚人(予約のみ)	医局員	医局員
整形外科	医局員	逸見範幸	医局員(初)	川崎恵吉	医局員(初)	中村正則	医局員(初)	三雲 仁	医局員(初)	尾又弘晃	医局員
整形外科		装具診 予約のみ	三雲 仁	前田(1,3,5)	逸見範幸	装具診(予約のみ)	三雲 仁	古槻(2,4)	逸見範幸	骨粗鬆症外来(2,4)	医局員
整形外科	前田昭彦		西山嘉信(予)	ﾘﾌｵｰﾐﾝｸﾞ(予)	尾又弘晃		中村正則		松久孝行		
整形外科	川崎恵吉		天下優介		長谷部寛子		川崎恵吉		天下優介		
産婦人科初診(12-7)	佐々木／新城／大森		高橋 諄		高橋 諄		小塚／安藤／(大森)		小川公一		医局員
産婦人科産科Ⅰ(12-1)	大森明澄		小川公一		佐々木康		荒川 香		安藤直子		
産婦人科産科Ⅱ(12-6)	前田雄岳				新城 梓		徳中真由美				
産婦人科婦人科Ⅰ(12-8)	小川公一		佐々木康	特殊診(予約のみ)	荒川 香		高橋 諄		新城 梓	特殊診(予約のみ)	医局員
産婦人科婦人科Ⅱ(12-6)	前田雄岳		安藤直子						大森明澄	徳中真由美	
泌尿器科(初診11-1)	永田将一		初診輪番	丸山邦隆(予約のみ)	斉藤克幸	小川雄一郎(予約のみ)	井上克己	前田智子(予約のみ)	島田 誠		医局員(初再診)
泌尿器科(再診11-3)	島田 誠	島田(女性外来(予約のみ))	斉藤克幸		井上克己		永田将一		椎木一彦		
泌尿器科(検査11-5)		青木(女性外来(第2)(予))									
眼 科	岡和田英昭	特殊診(岡和田)		特殊診(岡和田)	井上浩太				井上浩太		南雅之(2・4)
眼 科	南 雅之		南 雅之		岡和田英昭		井上浩太	特殊診(井上)	南 雅之	特殊診(南)	岡和田英昭(奇)嶋田拱也(奇)
眼 科	嶋田拱也	特殊診(嶋田)	岡和田英昭				嶋田拱也	特殊診(嶋田)	嶋田拱也		井上浩太(偶)
耳鼻咽喉科13-1	門倉義幸(初診)	腫瘍甲狀腺外来(予約のみ)	山田良宣(初診)		医局員(初診)		篠 美紀(初診)	櫛橋幸民(再)	医局員(初診)		医局員(初診)
耳鼻咽喉科13-2	山田良宣(再)		鈴木美幸(再)				門倉義幸(再)	135予約のみ			
耳鼻咽喉科13-3①	篠美紀(再)	齊藤洋幸(再)			滝口修平(再)						
耳鼻咽喉科13-3②								補聴器外来K(予約のみ)		補聴器外来N(予約のみ)	

◎放射線治療の外来日は、月火木金： 駒澤電二医師です。 ◎リハビリ科外来日は、第2,4水曜午後： 真野英寿医師です。 ※奇=奇数週 偶=偶数週 数字=診療日第○週 限=限定